

2022年3月17日（木曜）

全労金2022春季生活闘争ニュース・第32号

～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～

《合意速報No. 8》

東北労組が関連会社との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

東北労組は、3月17日12時から、関連会社と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

	要 求（関連）				回 答（関連）			
	正社員	契約社員	代理店 契約社員	再雇用 嘱託社員	正社員	契約社員	代理店 契約社員	再雇用 嘱託社員
基本賃金	—	A職務：下限6,000円 上限3,000円 B職務：3,100円		6,000円	—	応じられ ない	A職務： 下限3,000円	応じられ ない
一時金	4.0	1.0～2.6		—	4.0	40,000～2.6		—
昨年実績	4.0	40,000～2.6		—	4.0	40,000～2.6		—
安定雇用	無期転換	(実現)		—	(実現)		—	
	登用制度	(制度はないが実績あり)		—	(制度はないが実績あり)		—	
最低賃金	時間額1,020円、日額7,480円 月額157,100円への引き上げ				応じられない			
雇用環境	私傷病休職	正職員と同様		有給期間を設ける				
	育児時短	(実現)		(実現)				
	ハラスメント	協議で解決		協議で解決				
単組独自要求	退職金制度の改善				応じられない			

《金庫の発言概要》

- 2月22日にいただいた要求に対して真摯に検討し、準備を進めてきた。
- すべての要求に応えることはできないが、組合員を含め社員を大切にする風土、社員の気持ちに寄り添う、チームワークを重要と考え取り組みを進めてきている。待遇改善だけではなくそのような思いを大切にしていきたい。

《綿闘争委員長の発言概要》

- 昨夜の地震への対応や東北労金サービスの民主的な運営、新型コロナウイルス感

感染症により東北労金内でも感染確認が続いている状況で、社員の健康・安全を第一とし、会社の事業運営にむけ、最大限の対応を継続していることに敬意を表する。

- 要求書提出以降、労働組合と真っ直ぐに向き合い、真摯に交渉に対応いただいたことに感謝する。
- 労働組合の要求内容は、全組合員で金庫・会社の経営状況を確認し、要求を厳選していく必要性の意思統一と、現時点で解決が必要な課題の改善を求めたものであった。交渉を積み上げ、本日晒された回答については、金庫の回答状況も踏まえ応じられないとした要求項目もあり、厳しい回答内容であると受け止めている。
- しかし、交渉開始から終始、前向きな姿勢で臨んでいただき、改善に至らなかった項目の考え方も、労働組合が要求主旨で伝えた課題認識を受け止め認識をそろえられたことは、今後の労使の営みに繋がっていくものと考えている。
- 春闘期間に積み上げてきた交渉による労使の課題認識の共有が、これからも労働金庫業態で働き続ける私たちの未来に繋がると信じ、また、複数年の春闘交渉において要求してきた項目の前進が図られたことを総合的に判断し、妥結・収束する。

単組は、①社員の奮闘に報いること、社員の働きやすい環境づくりを今後も行う考えを示し、真摯な検討と、金庫の回答や組合の要求主旨をふまえて対応するとした考えが示されたこと、②一部改善されたことで前進を図り、課題について労使双方での認識一致を図れたこと、③今後も社員の働きやすい環境を構築していくために議論を重ねていくことを確認したこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（6単組／3月17日18時現在）

沖縄・北海道・長野・近畿(金庫)・近畿(関連)・新潟・東北(金庫)・東北(関連)

以 上